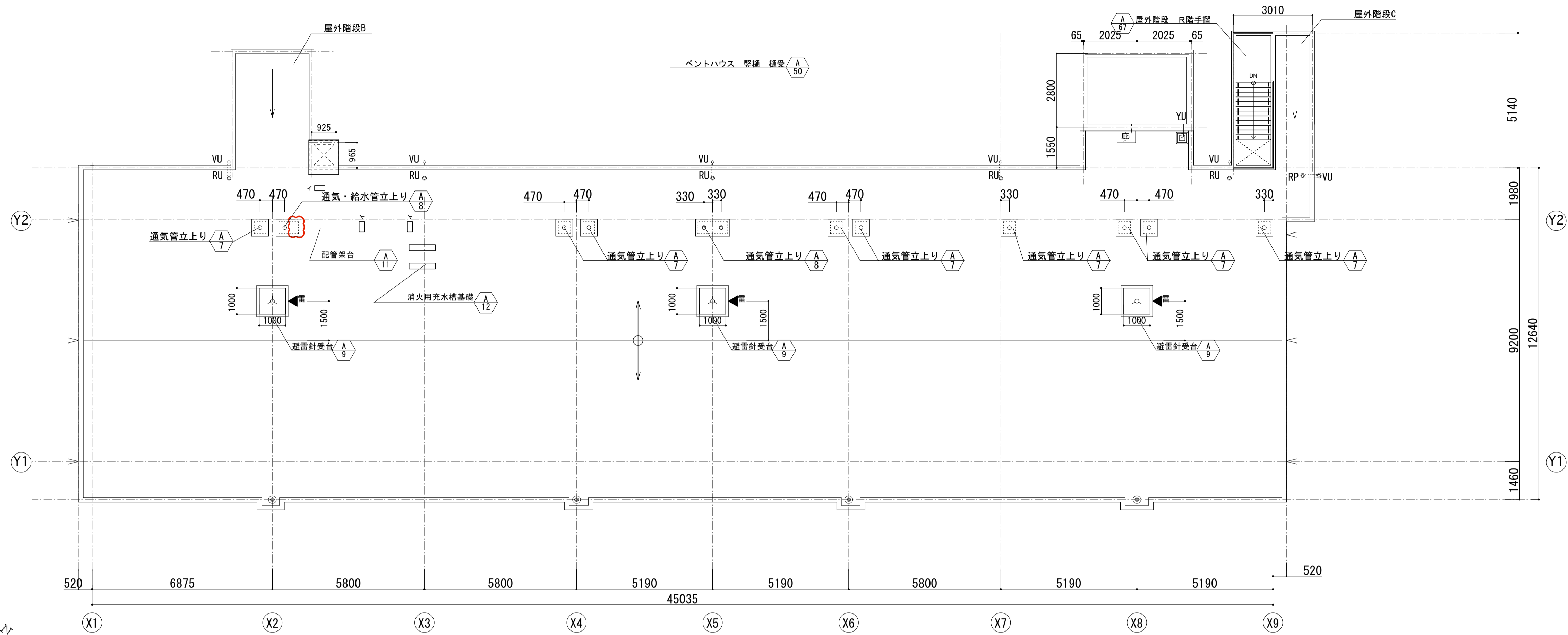


平成27年11月9日 公告
「豊里第2住宅19号館建設工事」

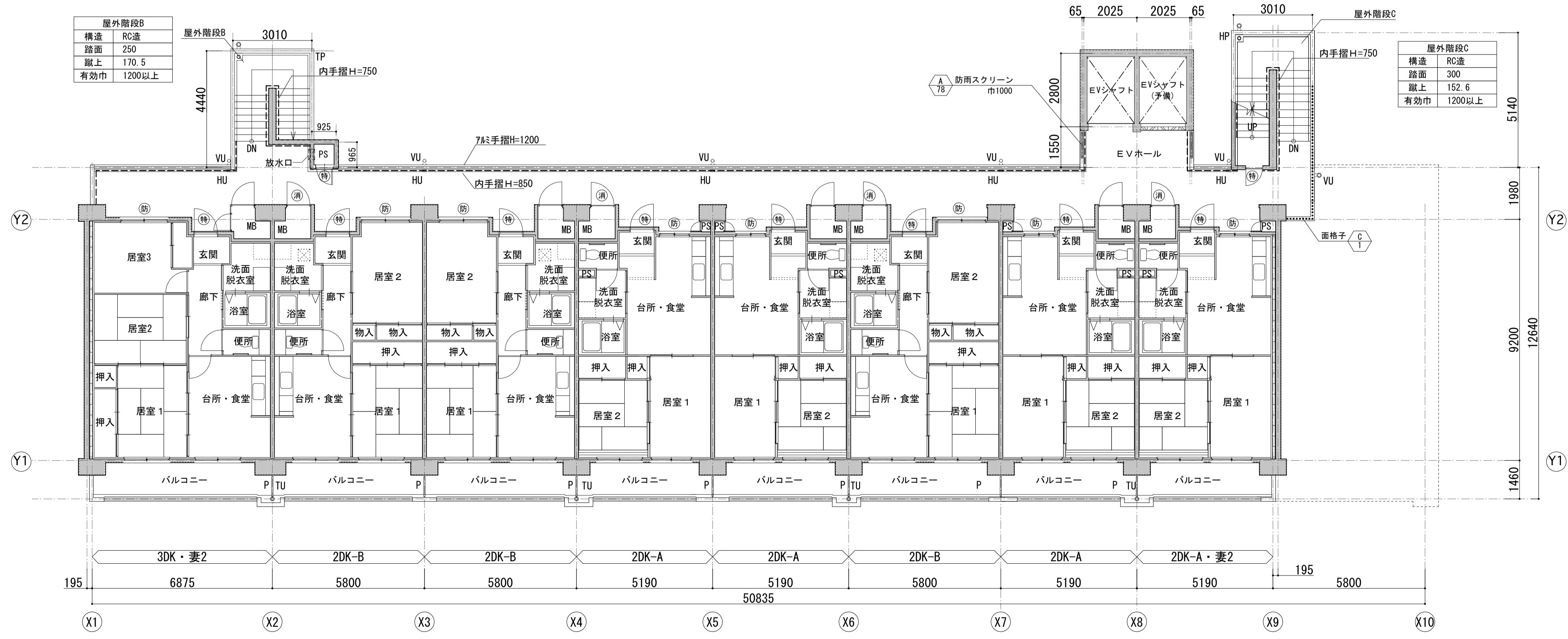
○設計図書の一部に表記誤りがありました。再度ご確認ください。

修正箇所	誤	正
図面番号 014 図面名称：平面図3	図面のとおり（R階平面図）	図面のとおり（R階平面図）
図面番号 019 図面名称：2DK-A・2DK-B・3DK・3DK-2矩計詳細図（2）	図面のとおり	記載不要 ※図面のとおり
図面番号 063 図面名称：玄関ホール・EV平面詳細図（1階平面詳細図）	図面のとおり	図面のとおり
図面番号 105 図面名称：スリーブ図	図面のとおり（R階平面図）	図面のとおり（R階平面図）
図面番号 214 図面名称：基礎梁・基礎小梁リスト	図面のとおり	図面のとおり
図面番号 220 図面名称：壁リスト	図面のとおり（エントランススロープ配筋詳細図）	図面のとおり（エントランススロープ配筋詳細図）
図面番号 304 図面名称：外航詳細図（1）	図面のとおり（スロープ詳細図）	図面のとおり（スロープ詳細図）



R階平面図

凡 例	
VU	縦挿 VU管100φ
VP	縦挿 VP管100φ
VP75	縦挿 VP管75φ
HP	フロアドレイン VP管
HU	細溝用フロアドレイン VU管50φ用
TU	中継ドレイン VU管100φ用
TP	中継ドレイン VP管100φ用
RU	ルーフドレイン VU管100φ用
RP75	ルーフドレイン VP管75φ用
YU	横引ルーフドレイン VU管100φ用
⊗	マンホール
□	床点検ハッチ 600×600
■	1階MB内 床下点検口
▲	屋上吊環
○	通気管給水管 防水立上り 1
○	通気管給水管 防水立上り 2
△	避雷針受台
□	配管架台
▲	雷 メッセージワイヤー取付け用吊環
□	消火用充水槽架台
□	アンテナマスト取付け用ボルト
⊕	消火器収納型MBドア
⊕	特定防火設備を示す
⊕	防火設備を示す
P	隔板 アルミ製 繊維混入セメント板
- - -	内手摺
⊕	下部ビット範囲を示す



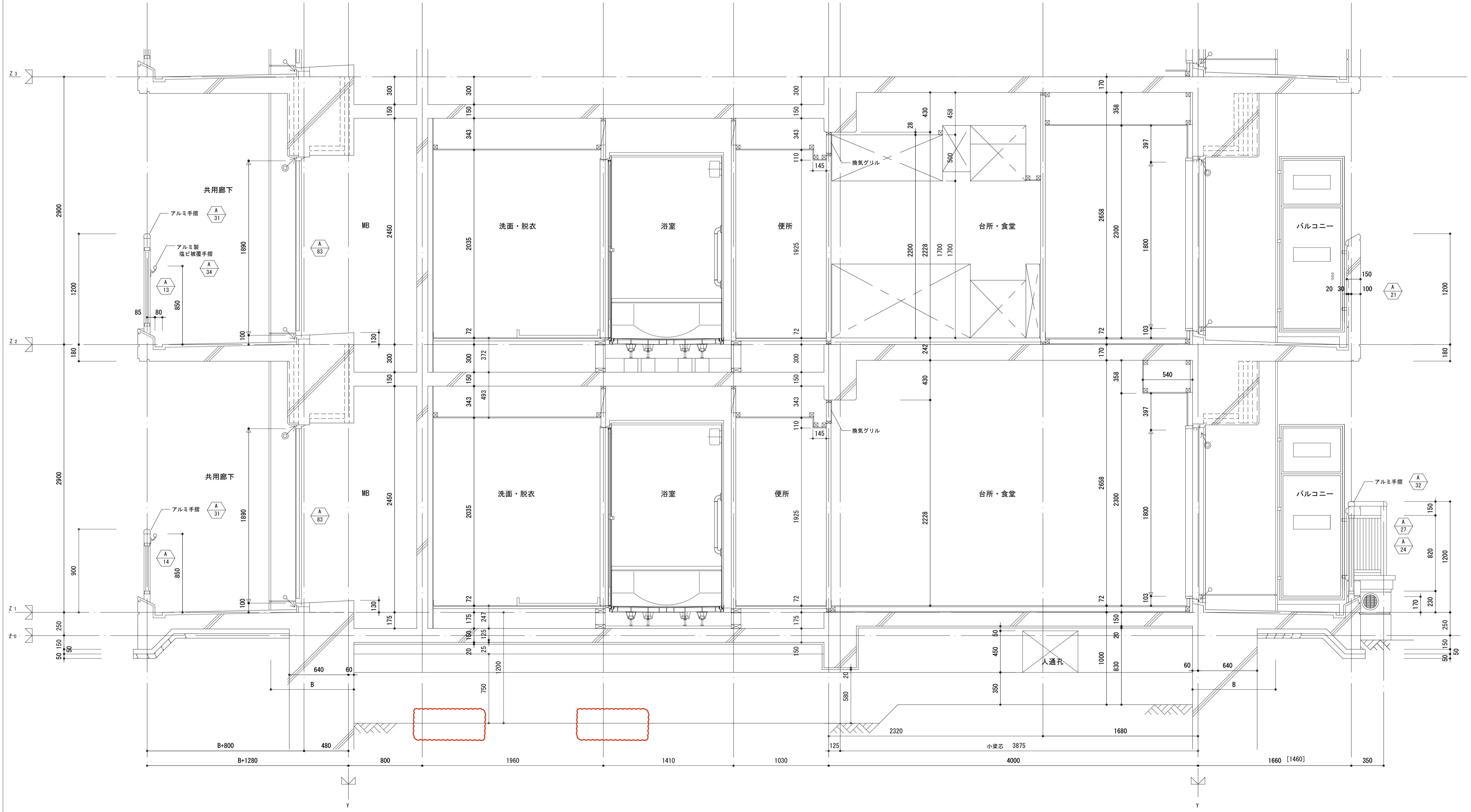
7階平面図

屋外階段B	
構造	RC造
踏面	250
蹴上	170.5
有効巾	1200以上

屋外階段C	
構造	RC造
踏面	300
蹴上	152.6
有効巾	1200以上

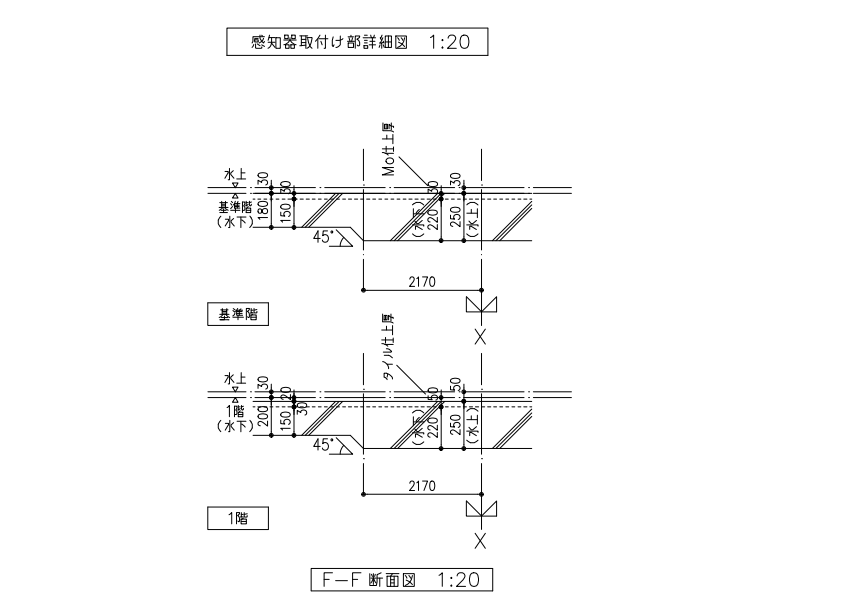
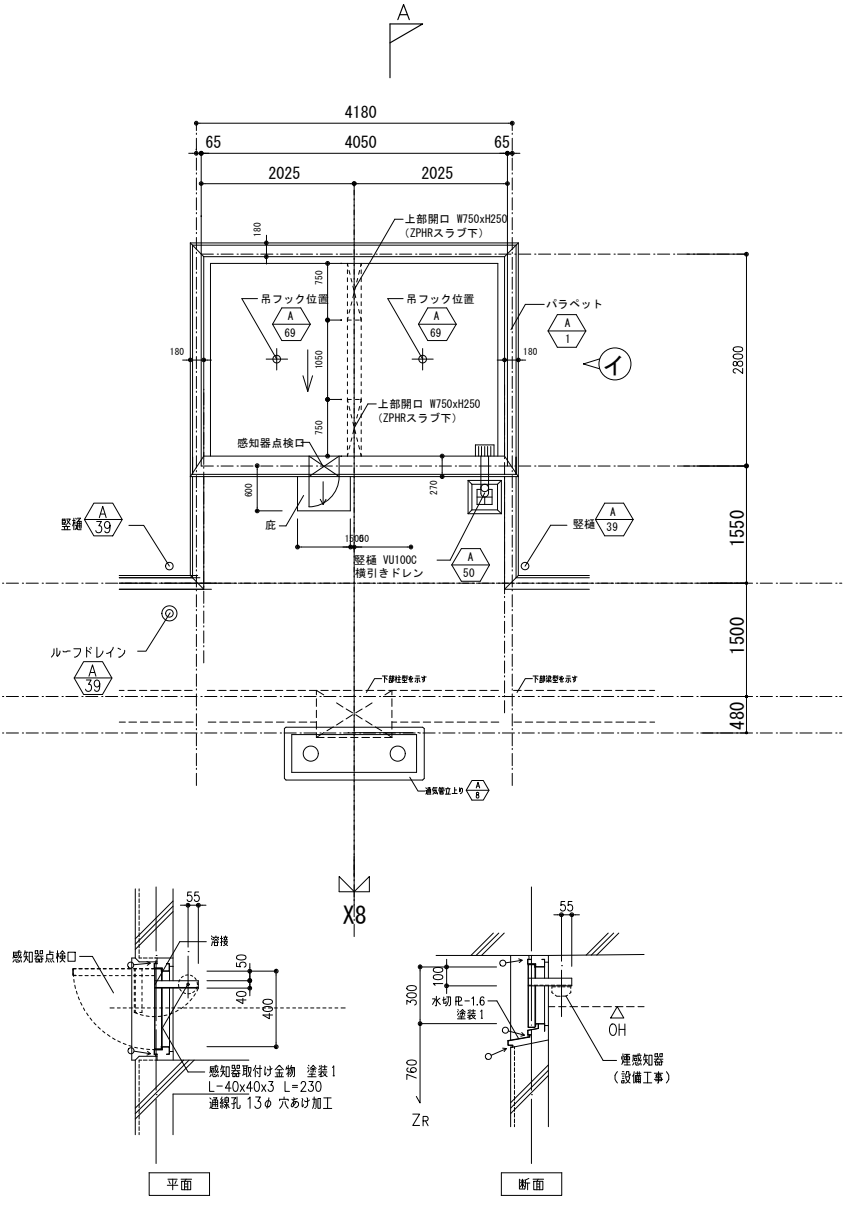
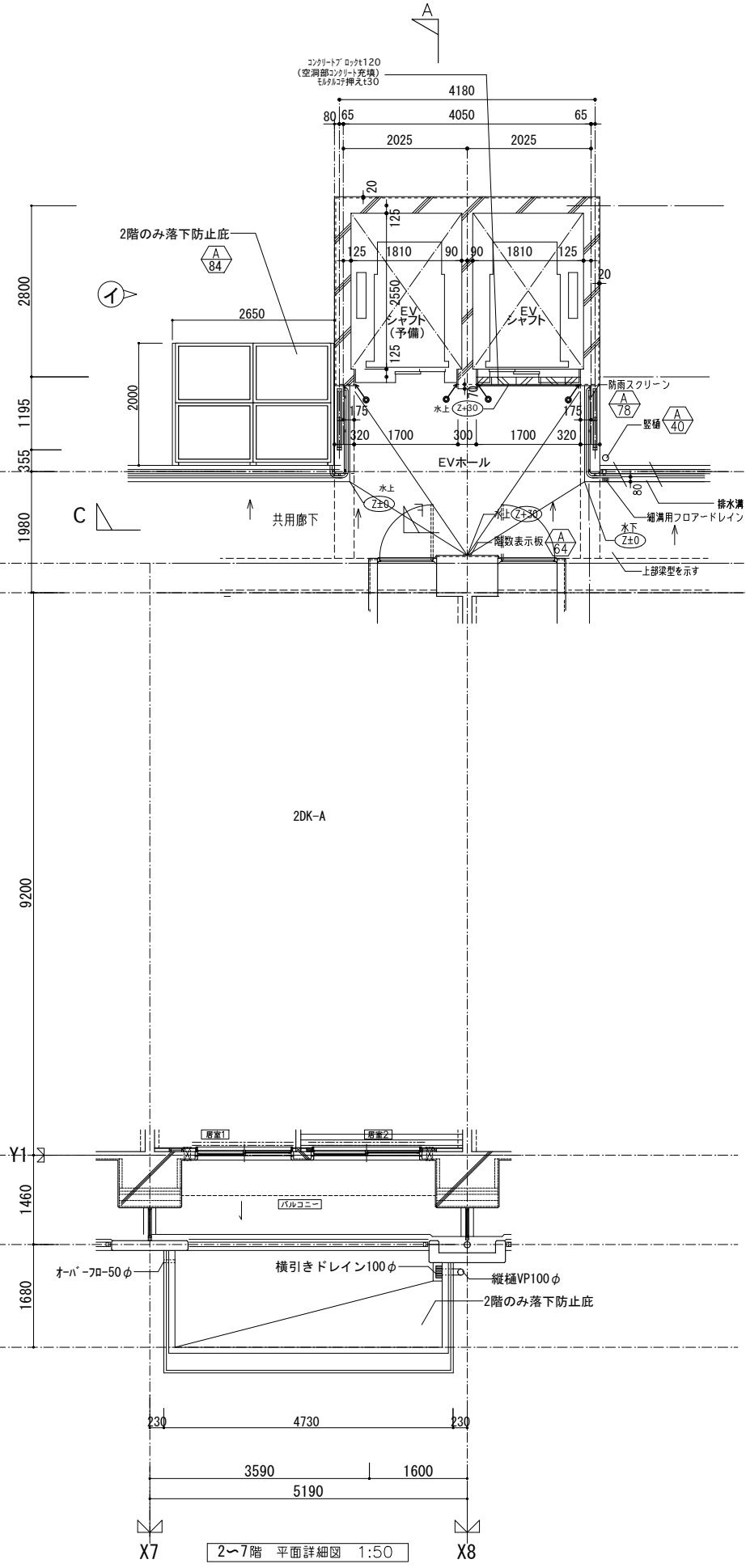
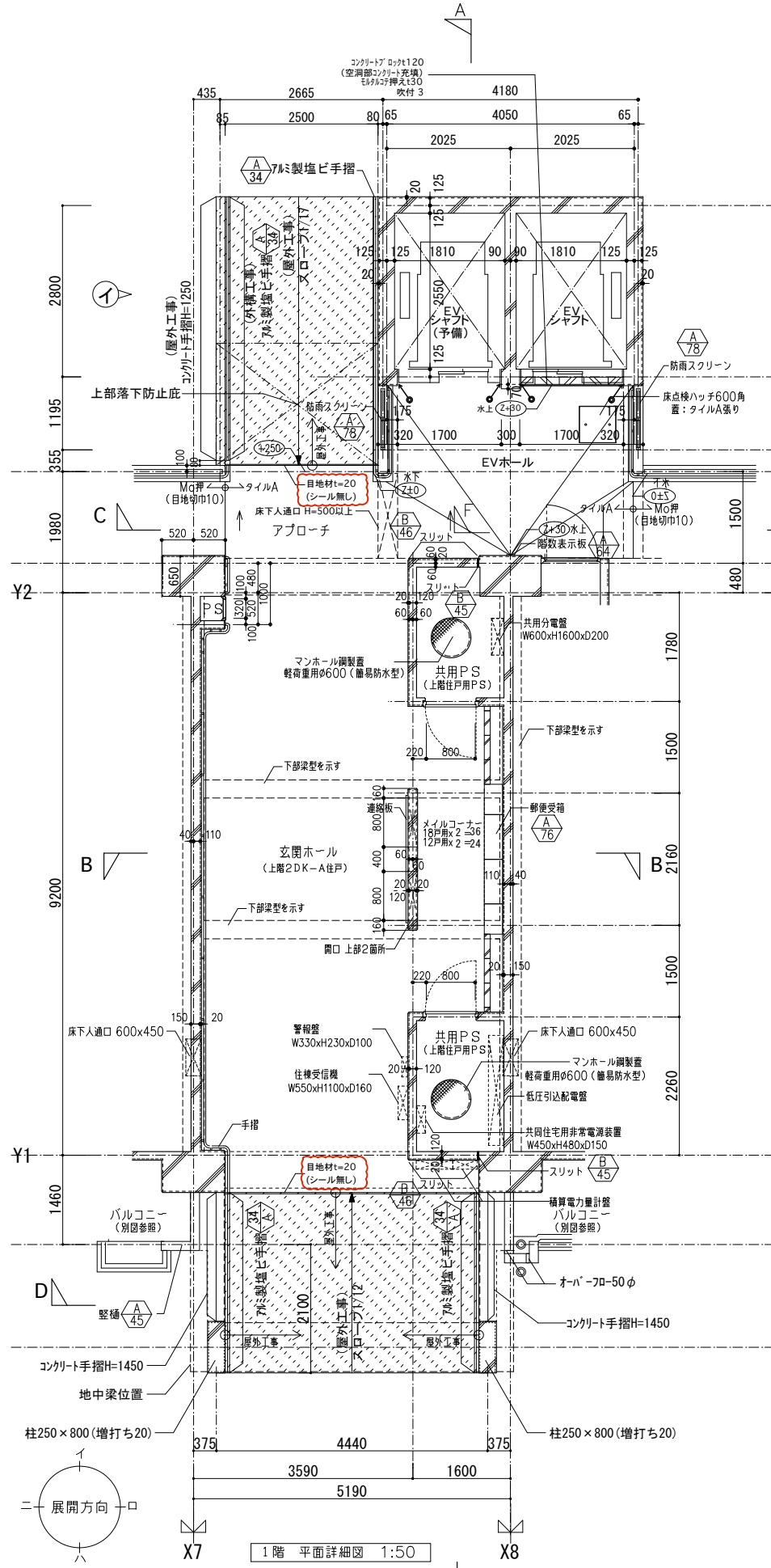
名称	豊里第2住宅19号館建設工事	原寸図No.12
図面名称	平面図3	製 図 平成 27年3月
縮 尺	1/100	図面番号 No. 014 (枚の内)
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		設計者 株式会社 遠藤剛生建築設計事務所

注記
 ・特記なきパネル厚は50とする。
 ・Bは1階の柱幅を示す。(柱幅寸法は構造図による。)
 B: 600、700 (650を含む)、800、900のいずれかの数値
 ・图中[]内寸法幅はB=700以下の場合を示す。



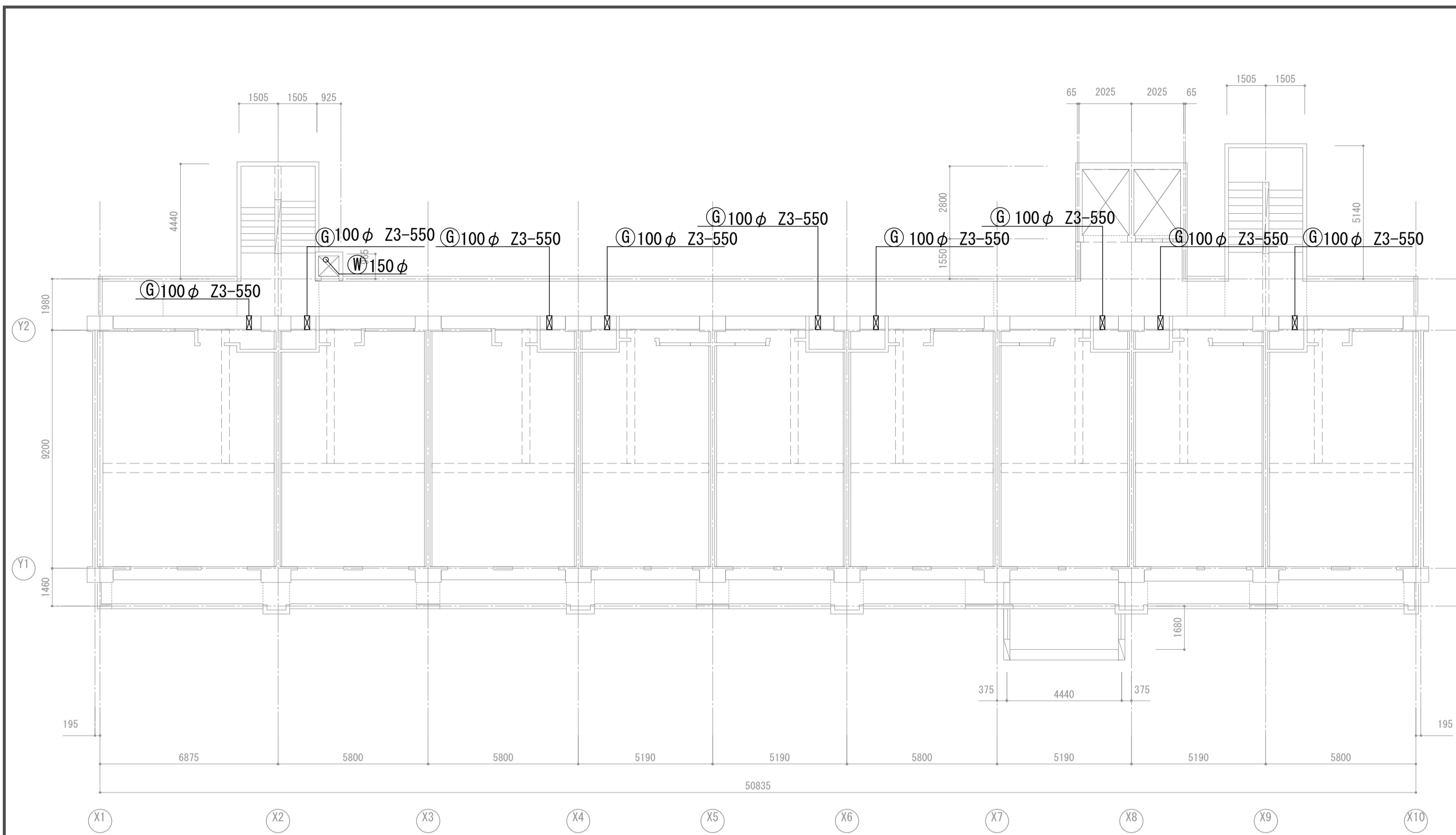
名称	豊里第2住宅19号館建設工事		図面番号	A.1
図面名称	2DK-A・2DK-B・3DK・3DK-2 矩計詳細図(2)		製図	平成 27年3月
縮尺	1/20 (原寸図面表示)		図面番号	No. 019
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)			設計事務所	株式会社 遠藤剛生建築設計事務所

凡例	※屋外工事との取合は目地切(屋外工事)とすること。
	屋外工事範囲を示す

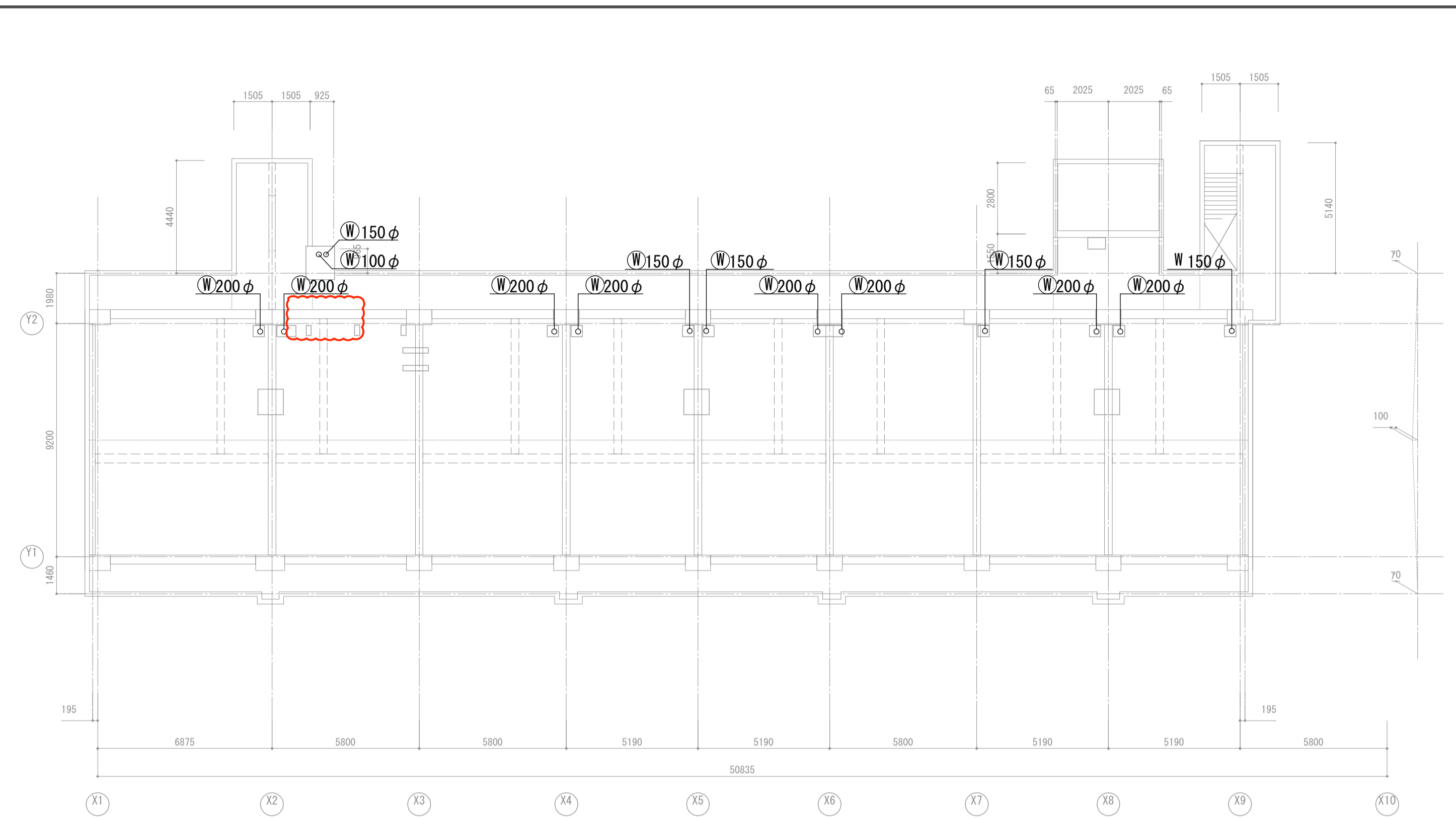


名称	豊里第2住宅19号館建設工事	図面番号	A1
図面名称	玄関ホール・EV平面詳細図	製図	平成27年3月
縮尺	1/50	図面番号	No. 063 (枚の内)
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所	

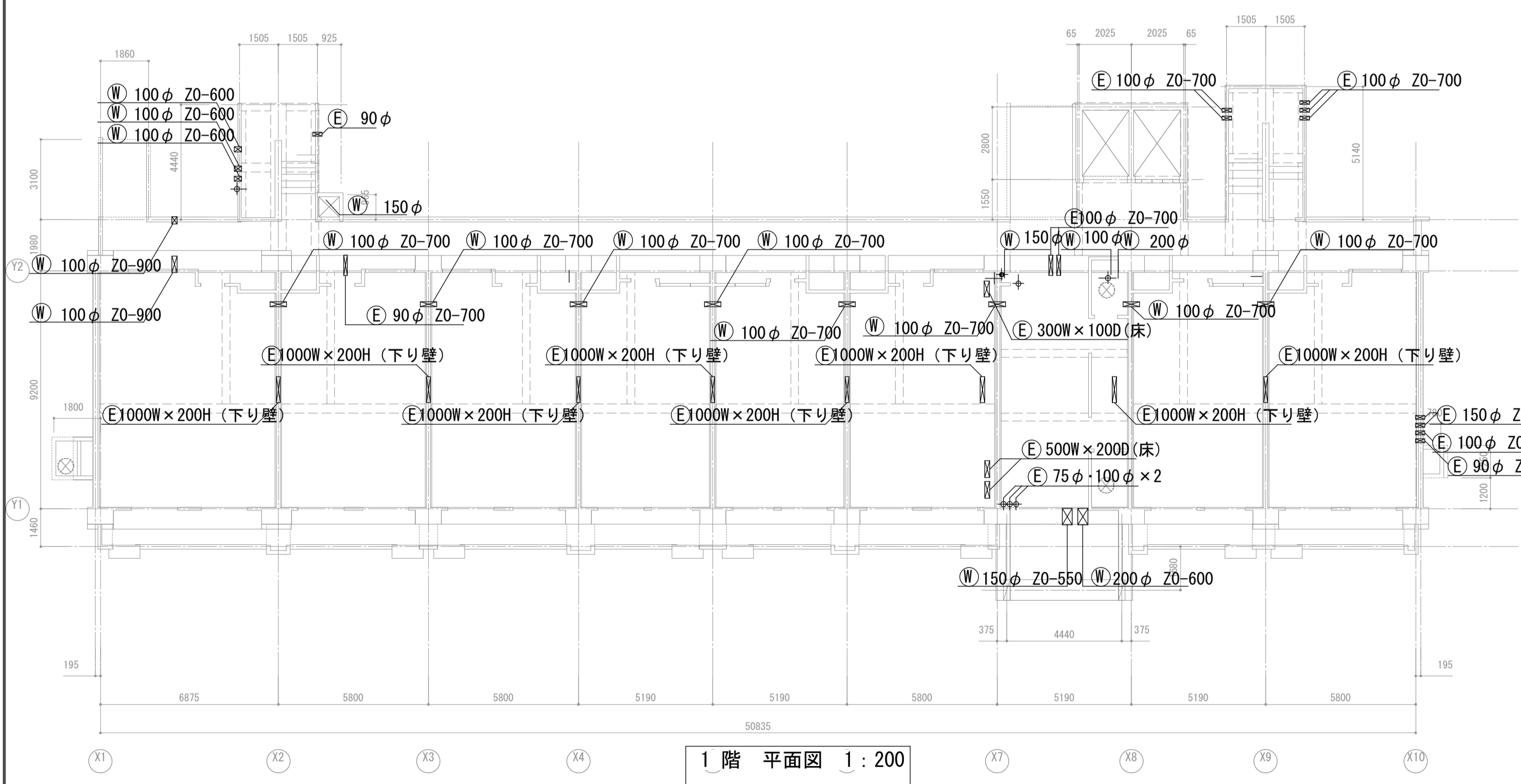
・図中の○はZ0からのレベルを示す。



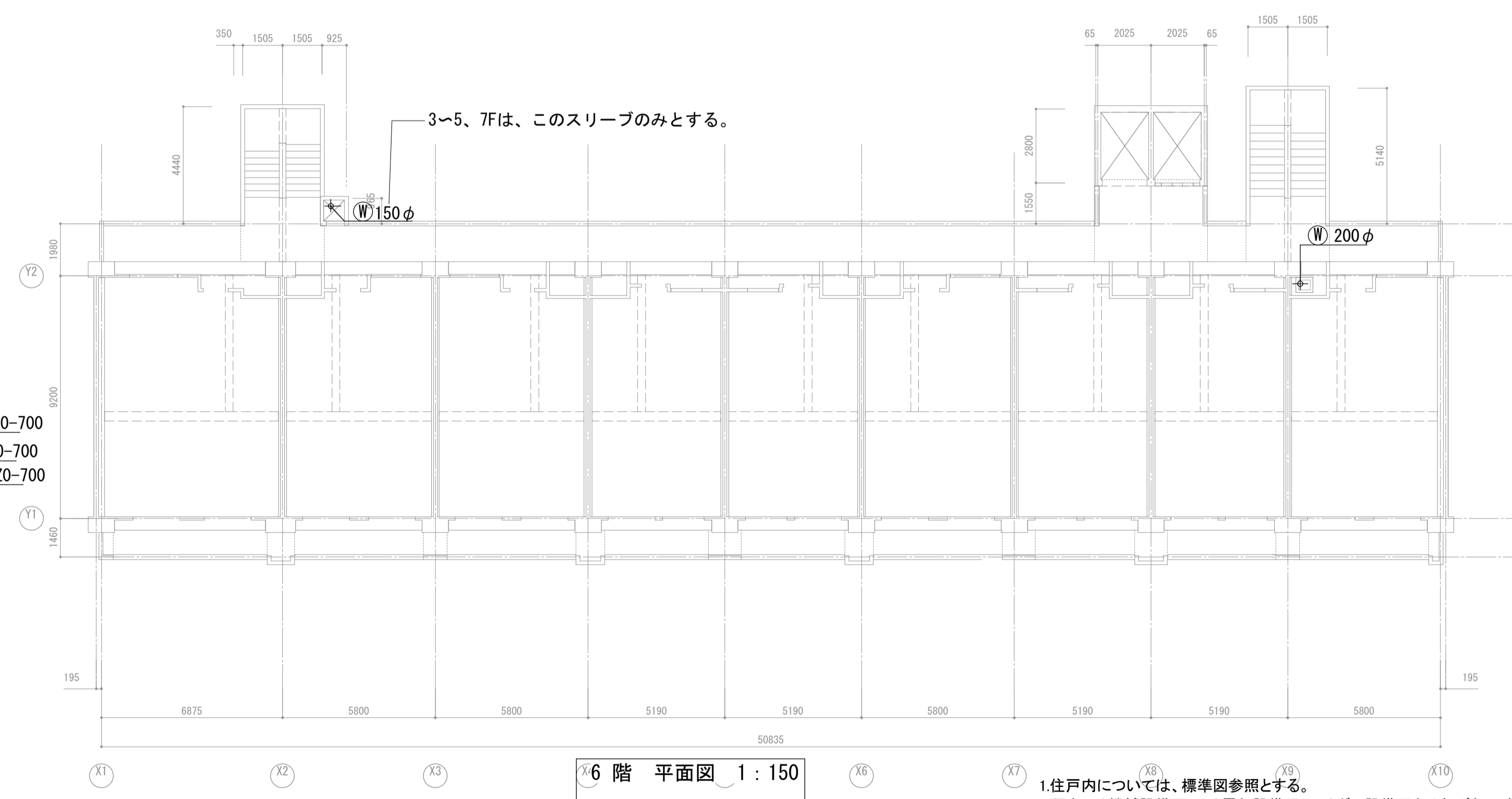
2階 平面図 1:200



R階 平面図 1:150



1階 平面図 1:200



6階 平面図 1:150

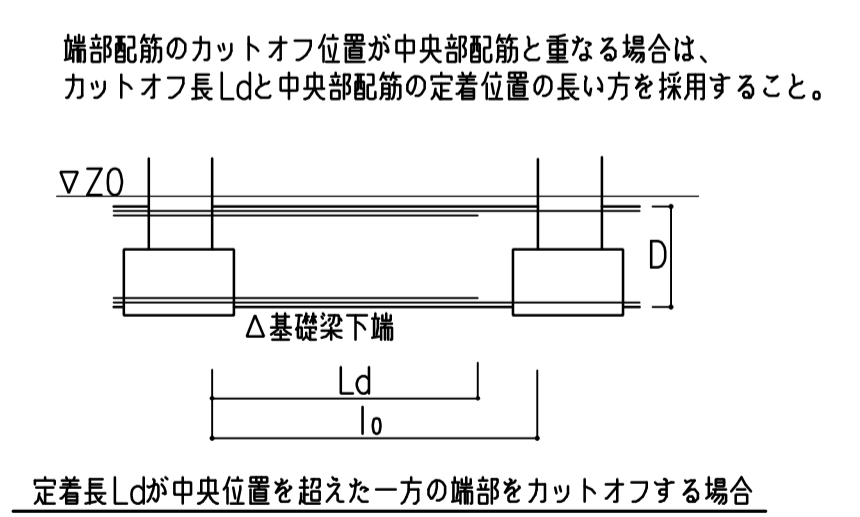
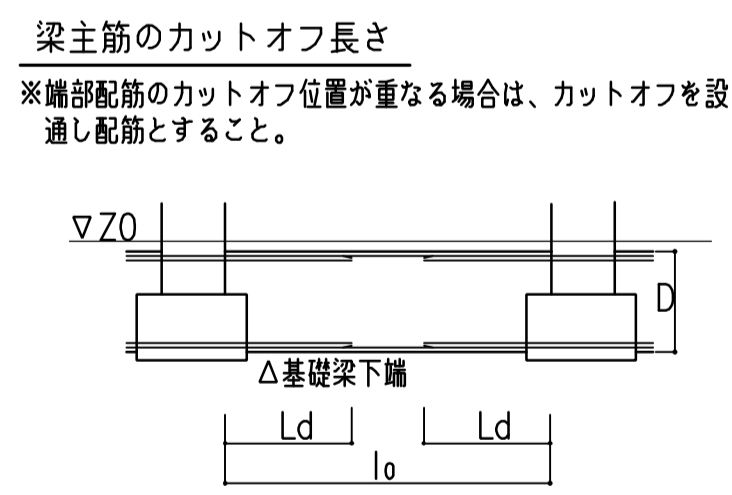
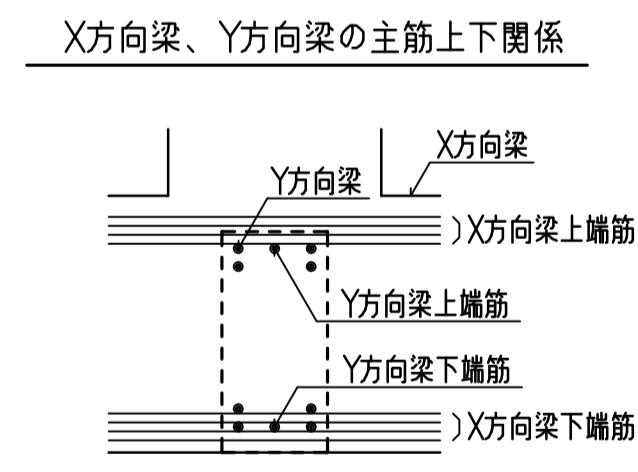
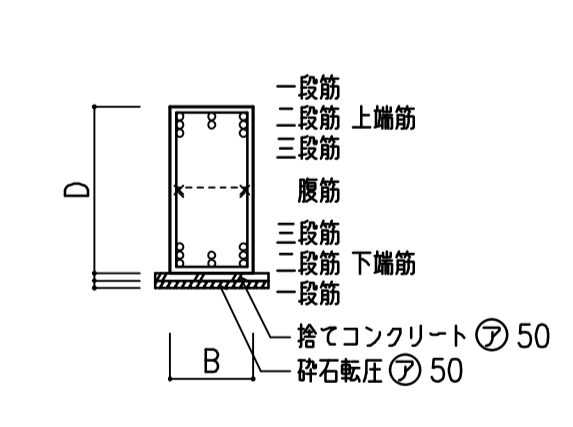
- 1.住戸内については、標準図参照とする。
- 2.図中Wは機械設備用、Eは電気設備用、Gはガス設備用をそれぞれ示す。
- 3.スリーブ位置・本数共参考とし、現場にて調整を行なう事。

名 称	豊里第2住宅19号館建設工事	図面番号	A1
図面名称	スリーブ図	製 図	平成 27年3月
縮 尺	1/150 (A3:1/300)	図面番号 No.	105 (枚の内)
大阪府都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		設計事務所	株式会社 遠藤剛生建築設計事務所

符 号	FG1		FG2			FG11		FG12		FG21		FG22
	端部	中央	X1,X10端	中央	X2,X9端	端部	中央	端部	中央	基端	先端	全断面
断 面												
B x D	650 x 1400		850 x 1400			700 x 1000		700 x 1000		550 x 850		800 x 850
上端筋	1段目 4-D35	4-D35	7-D35	7-D35	7-D35	6-D35	6-D35	6-D35	6-D35	4-D35	4-D35	5-D22
	2段目 4-D35	2-D35	7-D35	7-D35	2-D35	5-D35	3-D35	5-D35	3-D35	2-D35	—	—
	3段目 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3段目 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下端筋	2段目 4-D35	2-D35	6-D35	6-D35	2-D35	3-D35	3-D35	3-D35	3-D35	—	—	—
	1段目 4-D35	4-D35	7-D35	7-D35	7-D35	6-D35	6-D35	6-D35	6-D35	4-D35	4-D35	5-D22
スターラップ	□-D13@100		▽□-D13@100			□-D13@100		□-D13@100		□-D13@200		□-D13@200
腹筋	6-D13		6-D13			4-D13		4-D13		2-D13		2-D13
備 考												

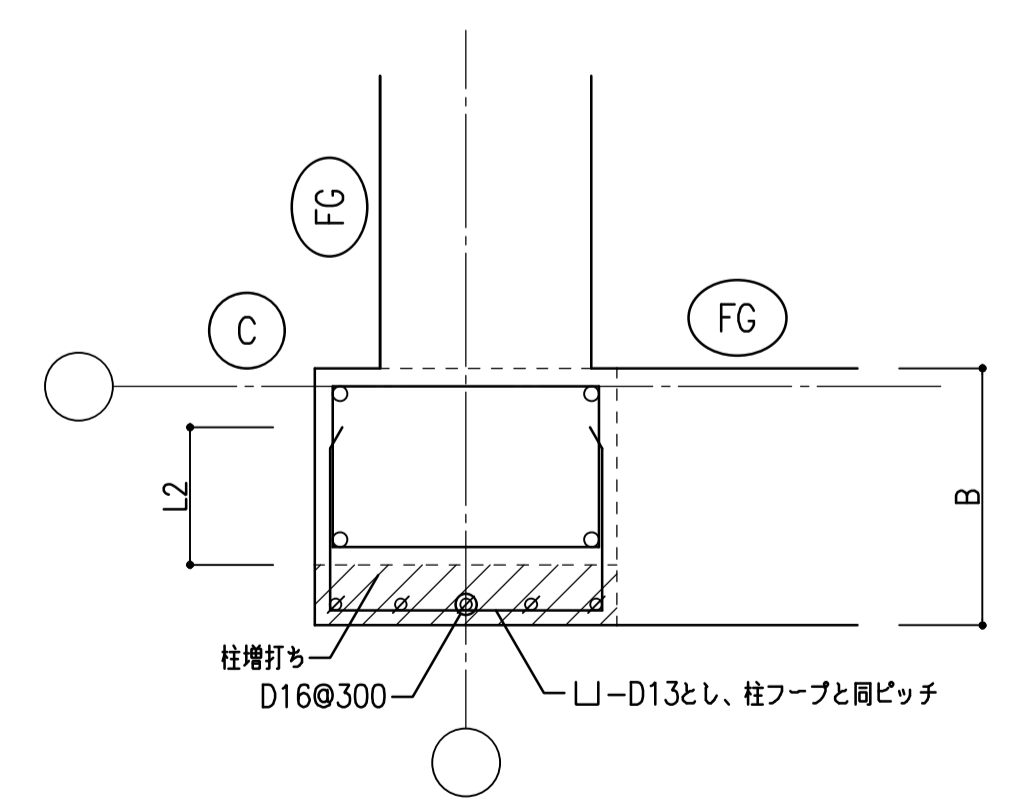
符 号	Fb11	Fb22	Fb23	Fb24	Fb25
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面					
B x D	300 x 1050	600 x 1400	350 x 1050	600 x 1400	350 x 1050
上端筋	1段目 3-D22	6-D25	3-D22	6-D25	3-D22
	2段目 —	4-D25	—	4-D25	—
	3段目 —	—	—	—	—
	3段目 —	—	—	—	—
下端筋	2段目 —	3-D25	—	3-D25	—
	1段目 3-D22	6-D25	3-D22	6-D25	3-D22
スターラップ	□-D10@100	□-D13@150	□-D13@200	□-D13@150	□-D13@200
腹筋	4-D10	6-D10	4-D10	6-D10	4-D10
備 考					

共通事項



注) 特記なき限り下記とする。
 ・鉄筋
 D16以下 SD295A
 D25~D19 SD345
 D29以上 SD345
 ・破線(---)は幅止筋を示し、D10@1,000とする。

基礎梁幅が柱幅より大きい場合の柱・基礎梁接合部の増打ち補強要領



構造設計 株式会社 ZEN 建築構造事務所 一級建築士 大谷 登 第190941号 司馬 勢也
 構造設計一級建築士 第4050号 司馬 勢也

名 称	豊里第2住宅19号館建設工事		図面番号	A1
図面名称	基礎梁・基礎小梁リスト	製 図	平成 27年3月	
縮 尺	(A1)1/50 (A3)1/100	図面番号	No. 214 (枚の内)	
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所		

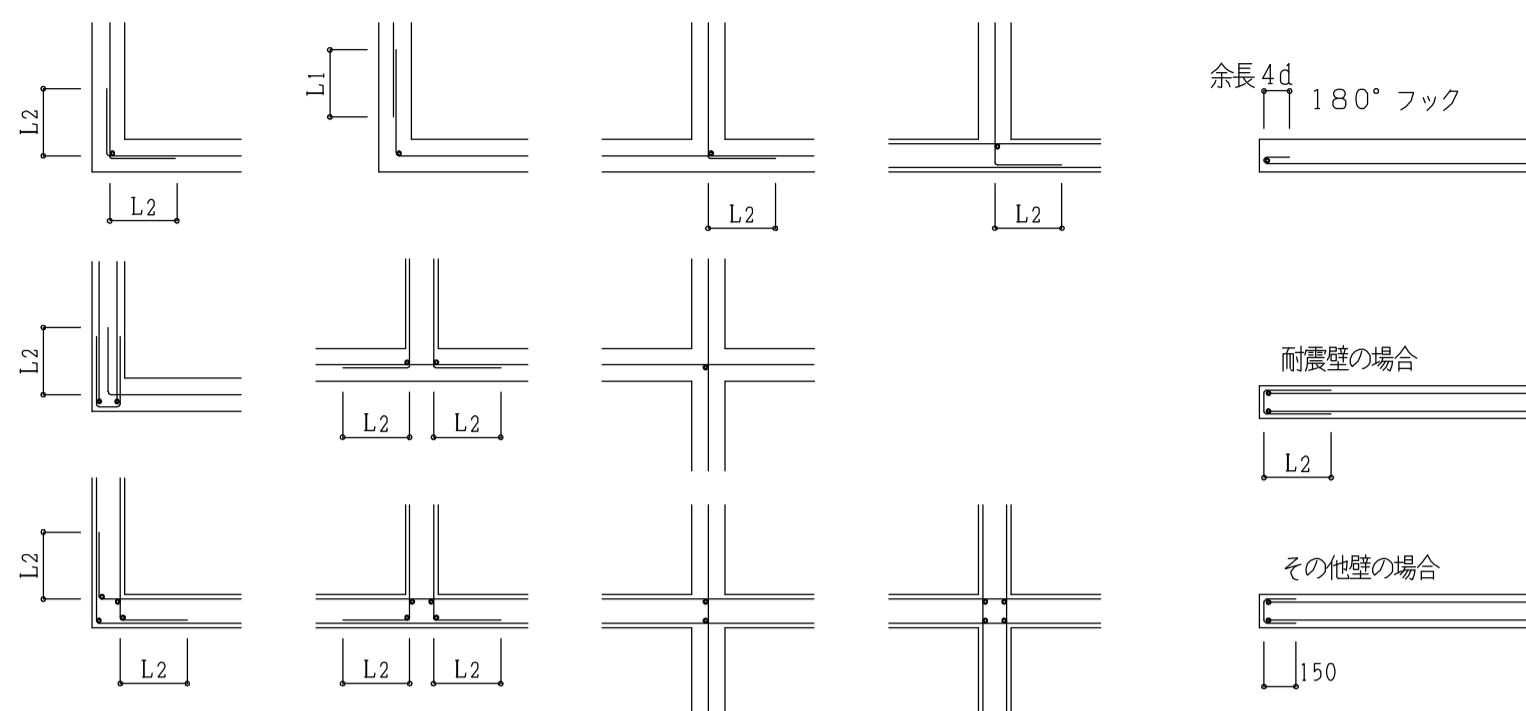
1. 壁配筋リスト

記号	W25<25A>	W20, W18	W15	W15A	W12, W10	CB	
版厚	250	200, 180	150	150	120, 100	100	
断面							
縦筋	D13@200<150>(D)	D13 @200 (D)	D10・D13@150 (S)	D10@200(ダブルドリ)	D10 @250 (S)	D10 @400 (S)	
横筋	D13@200<150>(D)	D13 @200 (D)	D10・D13@150 (S)	D10@200(ダブルドリ)	D10 @250 (S)	D10 @400 (S)	
開口補強筋	縦筋	2-D19	2-D16	1-D16	2-D13	1-D13	1-D13
	横筋	2-D19	2-D16	1-D16	2-D13	1-D13	1-D13
	斜筋	2-D19	2-D16	1-D16	1-D13	1-D13	
幅止筋	D10@1,000 以下	D10@1,000 以下		D10@1,000 以下			

記号	E W18	E W18A	E W18B	E W15	E W15A	E W15B	
版厚	180	180	180	150	150	150	
断面							
縦筋	D10 @150 (D)	D13 @150 (D)	D13 @100 (D)	D10・D13@200 (S)	D10・D13@200 (S)	D13 @200 (S)	
横筋	D10 @150 (D)	D13 @150 (D)	D13 @100 (D)	D13 @200 (S)	D13 @150 (S)	D13 @100 (S)	
開口補強筋	縦筋	4-D16	4-D19	4-D19	2-D22	2-D22	2-D22
	横筋	4-D16	4-D19	4-D19	2-D22	2-D22	2-D22
	斜筋	2-D16	2-D19	2-D19	1-D22	1-D22	1-D22
幅止筋	D10@1,000 以下	D10@1,000 以下	D10@1,000 以下				

註) 立ち上り壁W25はE W18, E W15, E W15Aの下部とし、W25AはE W18Aの下部とする。E W18Bの下部は個々の物件でリストを調整する。

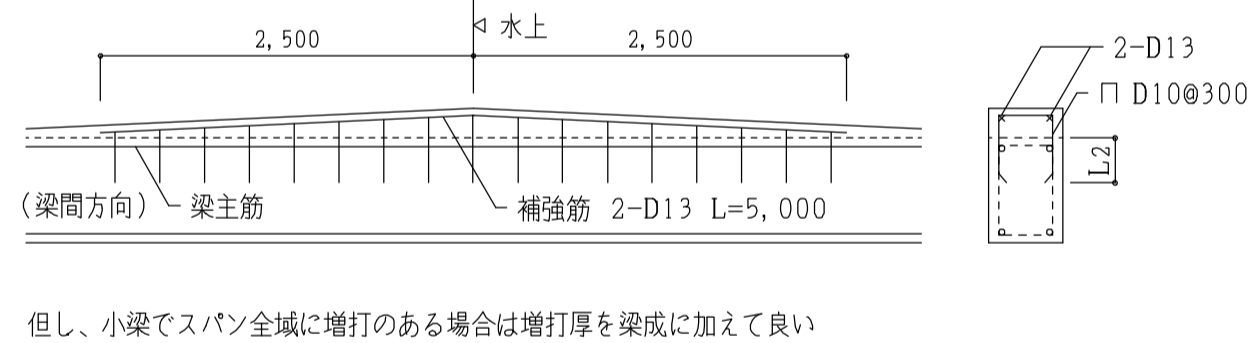
2. 壁 交差部



- 壁配筋要領
- 横筋は水平アンカーとする。
 - 端部補強、縦筋、斜筋は、1. 壁配筋リスト 開口補強筋による。
 - 壁交差部 補強筋径 (本数は左図による)
 - W10 ~ W12 - D13
 - W15 - D16
 - W18 ~ W25 - D16
 但し、交差する壁厚が異なる場合の補強筋径は厚い方による。
 - 開口補強筋の定着はL1とする。但し開口部が柱、梁に接する部分は補強不要とする。
 - スリーブ補強は100mm以下は不要とする。100を越え250mm以下で孔をさけて配筋できる場合は補強不要とする。但し斜筋(D13)は配筋する。
 - 水平スリット、鉛直スリットの詳細は建築図参照。
 - 延焼の恐れのある部分のスリットの耐火時間は60分以上とする。

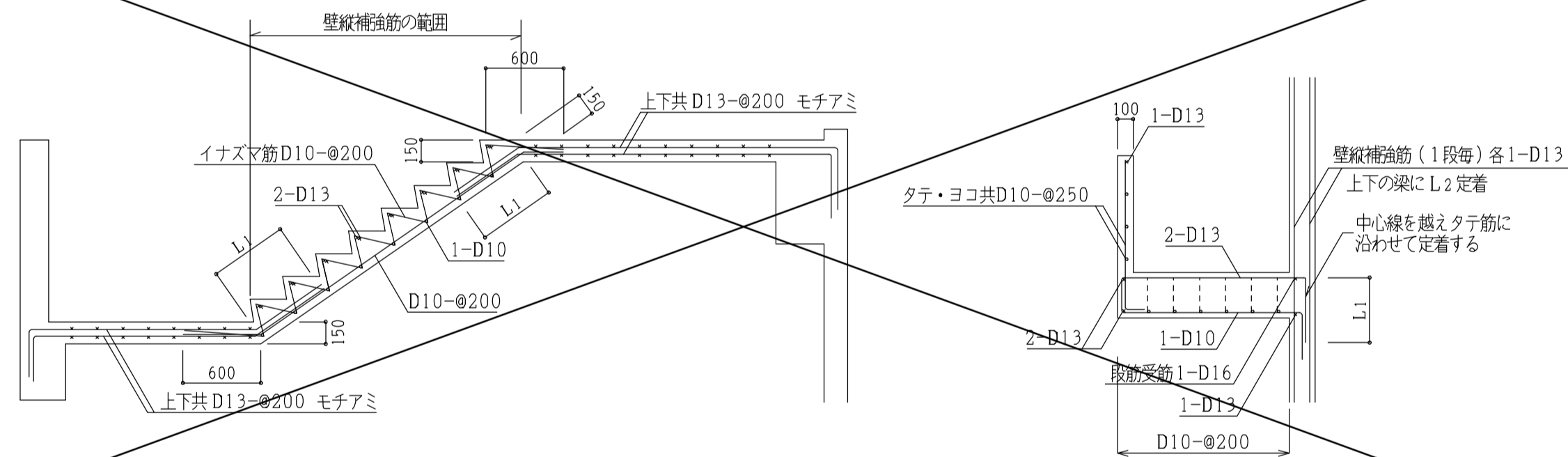


最上階梁の増打補強



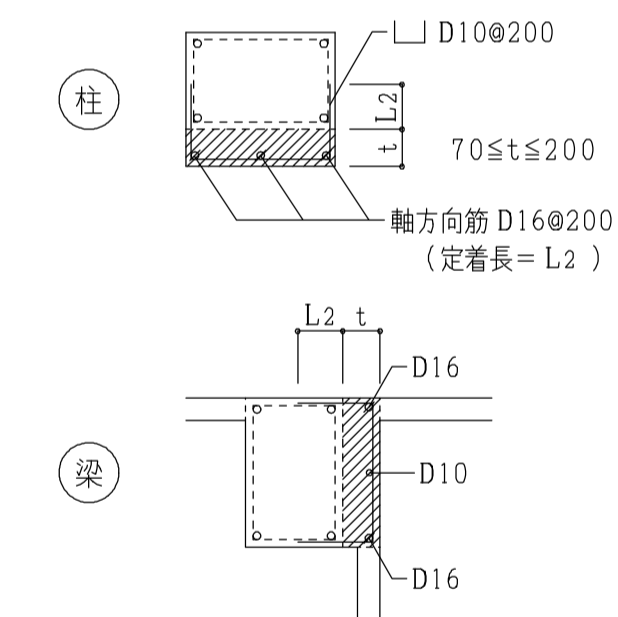
但し、小梁でスパン全域に増打のある場合は増打厚を梁成に加えて良い

階段配筋詳細図 (別図特記なきは下図による。)

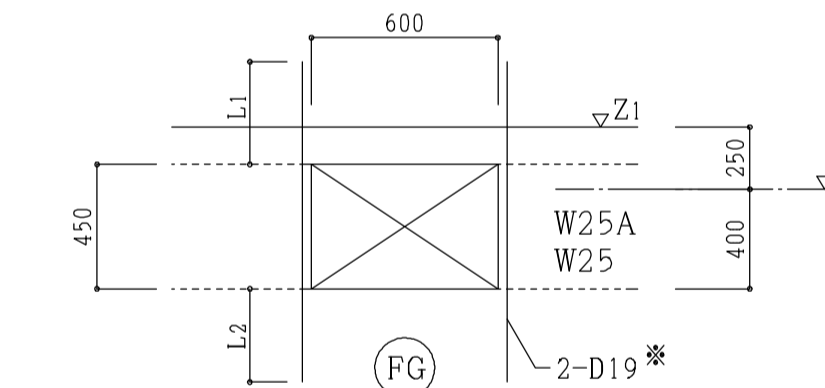


柱及び梁の増打補強

(増打厚70以上の場合に適用する。)

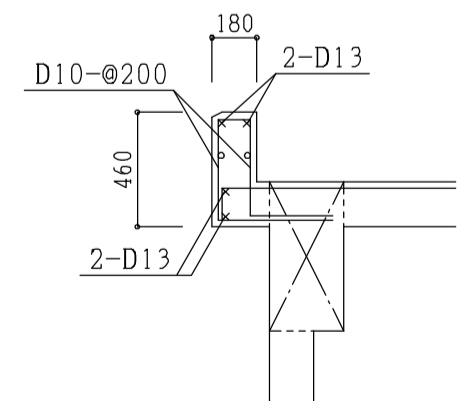


床下点検口配筋補強図

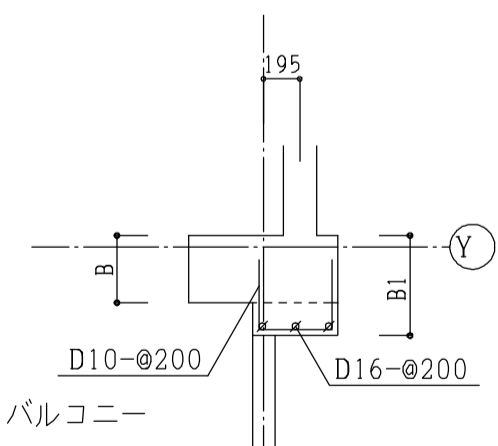


註) *印、開口補強筋は個々の物件で調整する。

妻バラベツ

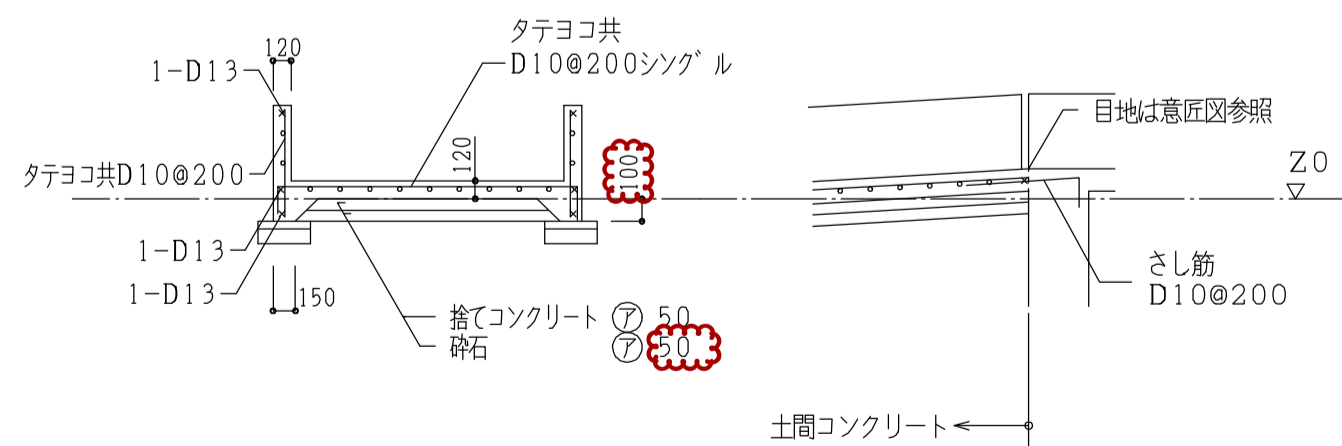


バルコニー妻柱増打ち

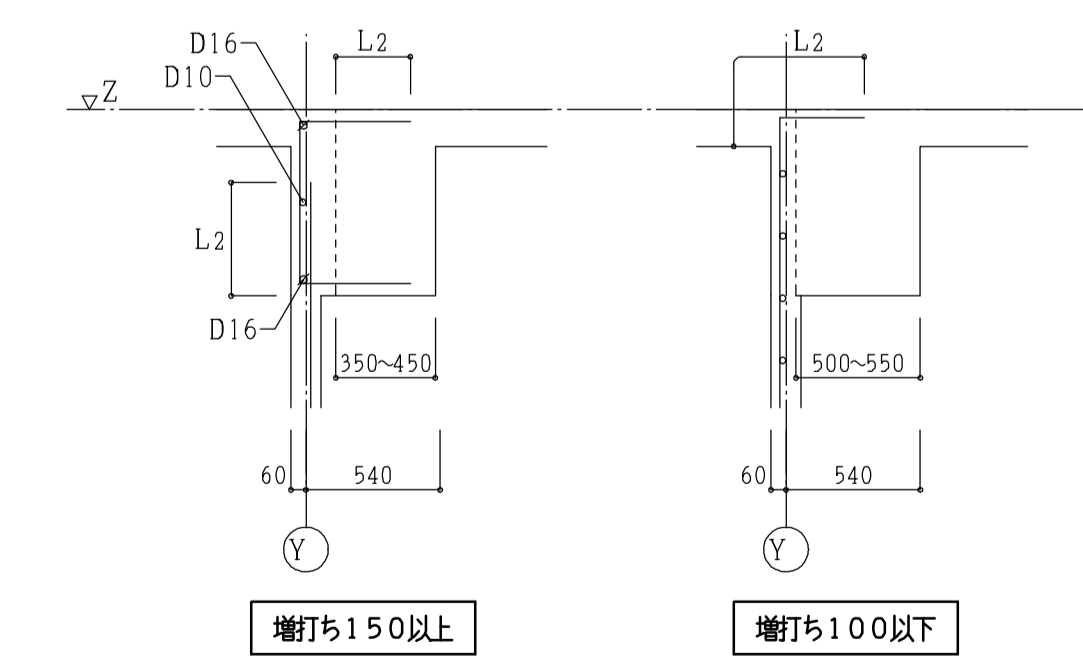


柱寸法Bが、上階で小さくなっていく場合は、1階の柱寸法B1に合わせて上記の増し打ちを行う。

エントランススロープ配筋詳細図



2DKB, 3DK中, 妻廊下側増打部配筋納まり図



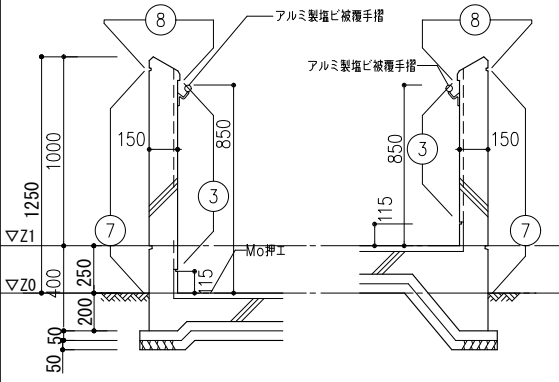
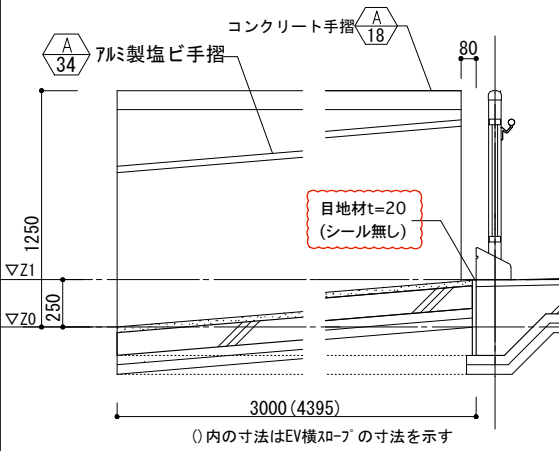
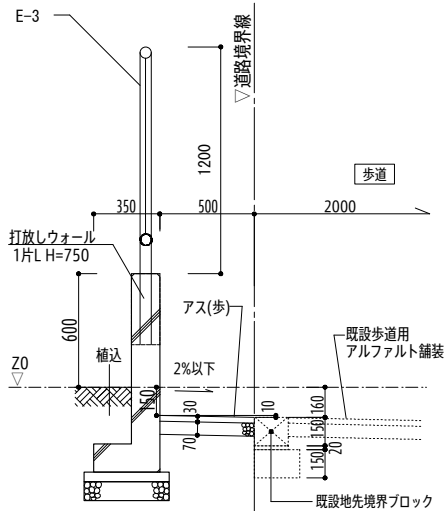
構造設計 株式会社 ZEN 建築構造事務所 一級建築士 大谷 啓也 第190941号 司馬 勢也
構造設計 一級建築士 第4050号 司馬 勢也

名称 豊里第2住宅19号館建設工事 図面番号 A1

図面名称 壁リスト 製 図 平成 27年3月
縮 尺 (A1)1/50 (A3)1/100 図面番号 No. 220 (枚の内)

大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ) 株式会社 遠藤剛生建築設計事務所

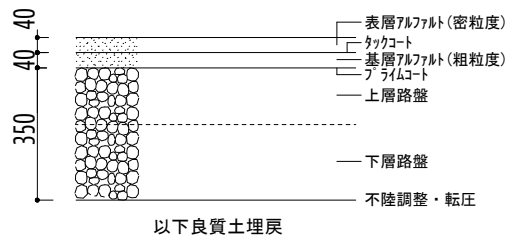
修正日付	修正内容	修正日付	修正内容	修正日付	修正内容
2006. 3	壁リスト追加	2011. 3	定着見直し		
2007. 3	バルコニー妻柱増し打ち書き込み追加				
2009. 6	EW符号、増打、スロープ表記				



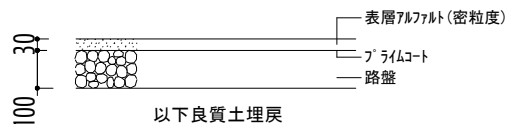
仕様

床仕上
 ・X1通R-7: モルタル、EV機、エントランス前R-7: タイル貼

舗装改修 (建設局仕様) 詳細図 1/20



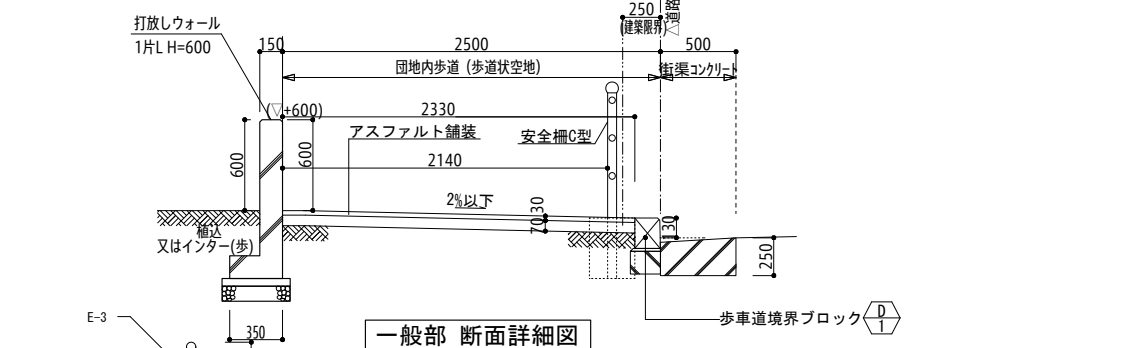
アスファルト (道路)
A08-35



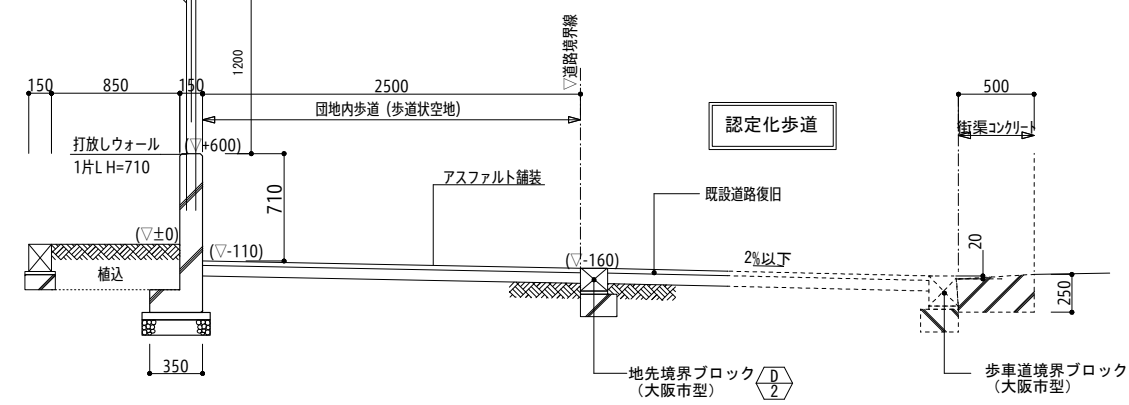
アスファルト
(歩道)

仕様

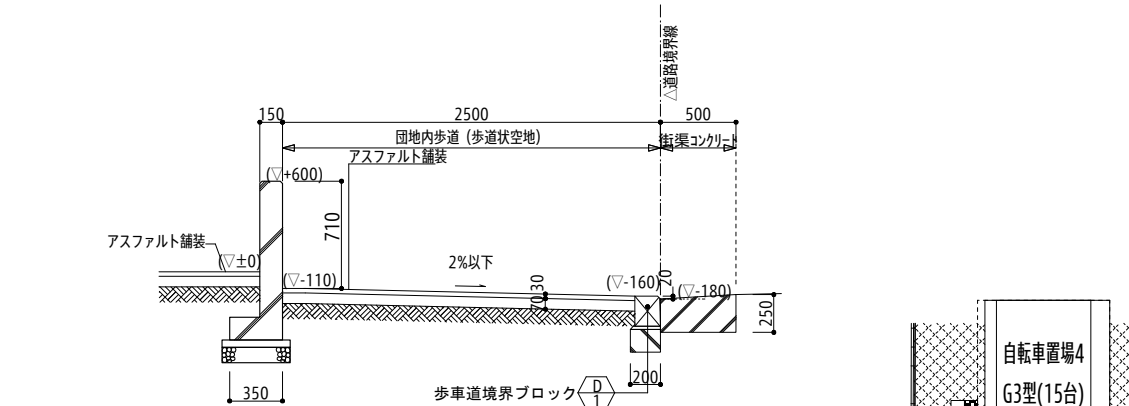
記号



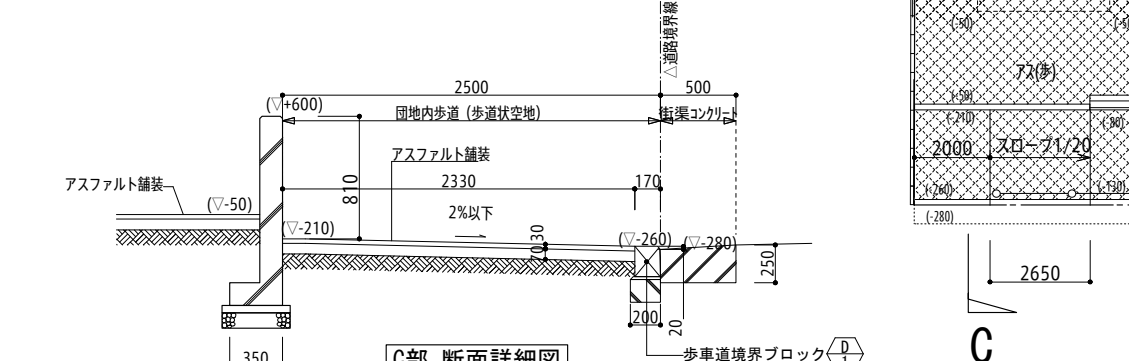
一般部 断面詳細図



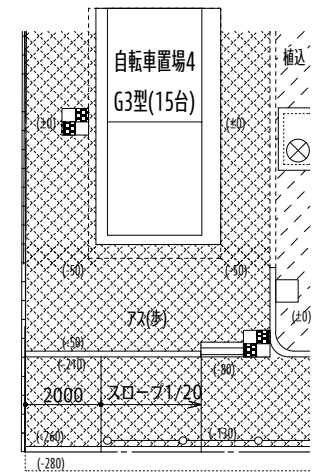
A部 断面詳細図



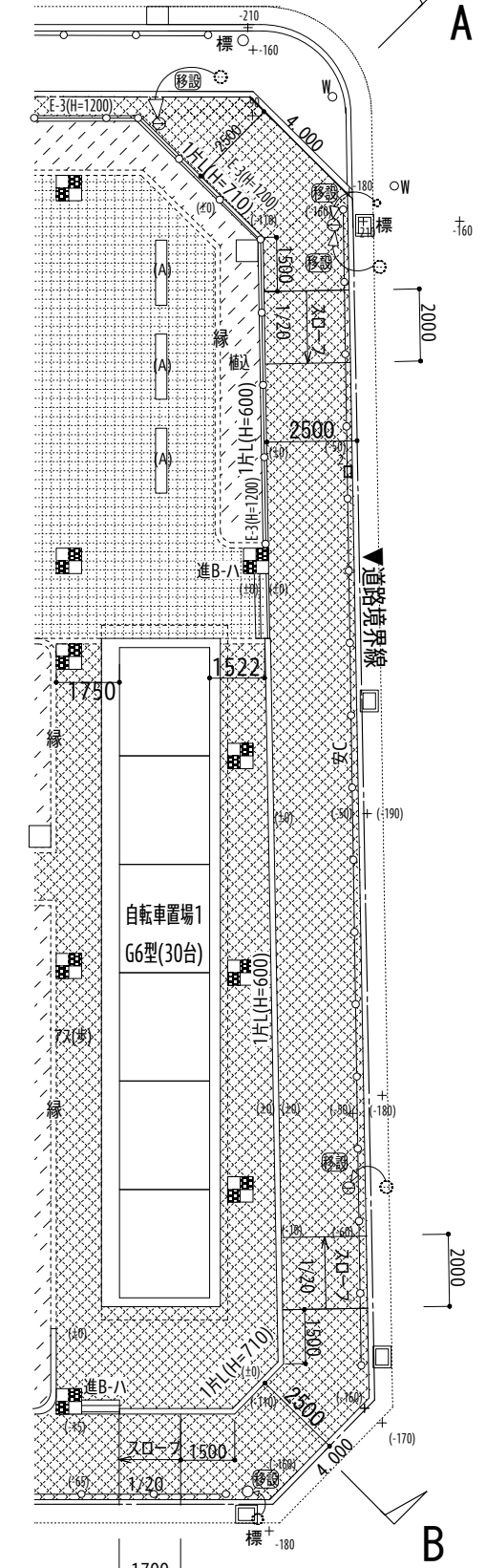
B部 断面詳細図
(歩道摺付部)



C部 断面詳細図
(歩道摺付部)



C



B

名称	豊里第2住宅19号館建設工事	図面名称	外構詳細図(1)	製図	平成27年3月
縮尺	1/20, 1/30, 1/50	縮尺	1/20, 1/30, 1/50	図面番号	No. 304 (枚の内)
大阪市都市整備局 住宅部建設課 (建設設計グループ)		株式会社 遠藤剛生建築設計事務所			